

神奈川の研究者紹介

氏名	福富 洋志 (ふくとみ ひろし)	
現職	放送大学特任教授、神奈川学習センター所長、工学博士	
主な経歴	1980年3月東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、横浜国立大学工学研究院教授、工学研究院長、理工学部長、東北大学多元物質科学研究所客員教授を歴任。横浜国立大学名誉教授	
専攻分野・研究テーマ	材料工学：合金元素を低減した高性能材料の開発、軽量耐熱材料の開発、材料性能の高度化技術の探求	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<p>【著書】岩波講座現代工学の基礎「金属材料」(2001年、共著)、見方・考え方合金状態図、オーム社(2003年、共著)、自動車材料の最前線、CMC出版(2006年、監修)、等</p> <p>【論文】「優先動的結晶粒成長機構によるFe-Mn-Si-Cr合金の集合組織制御と形状記憶特性の向上」(共著), 鉄と鋼, 107(2021), 第4号, 312-320.</p> <p>「アルミニウム線材の繰返し曲げ変形における結晶格子回転と疲労亀裂形成」(共著), 軽金属, 69(2019), 302-308. 和文、欧文論文多数。</p> <p>【学会活動】日本金属学会会長、日本鉄鋼協会理事、自動車技術会材料部門委員長</p> <p>【社会活動】文部科学省大学設置・学校法人審議会工学専門委員会委員、大学改革支援・学位授与機構 学位審査会<材料工学>委員、高等専門学校機関別認証評価委員会委員、横浜ティーエルオー株式会社取締役、(公財)総合安全工学研究所常務理事等。</p>	
神奈川県との関わり	神奈川県立産業技術総合研究所が実施する高度技術活用研修の講師、神奈川工業技術開発大賞選考委員、神奈川県科学技術会議研究推進委員会委員等の他、神奈川県内企業の材料技術相談・技術指導、等	
メッセージ	<p>「鉄は熱いうちに打て」は若いうちに鍛錬することの大切さを述べたたとえですが、実は、強さをはじめ、材料の様々な特性は材料工学に基づいた技術で鍛えられ、高度化されています。合金の性能は、元素の種類や割合だけでは決まりません。ですから、材料を適切に使用するためにはその材料の特性や機能がどのような手法で生み出されたのかについての理解が大切です。</p> <p>着眼した材料が利用できるのか/できないのか、積極的に使うべきか/控えるべきか、注意すべき点は何か、などについて判断ができる知識を持つことが望まれます。そのため、具体的な材料課題が発生した企業や新材料を検討している企業の技術相談だけでなく、様々な講習会や公開の講演会で材料技術とその原理を紹介しています。材料の性能を100%活用するための力になればと思います。</p>	
連絡先	放送大学神奈川学習センター 〒232-8510 神奈川県横浜市南区大岡 2-31-1 電話：045-710-1910 E-mail: h.fukutomi@ouj.ac.jp	